技術・製品等に関する情報提供依頼一覧（令和6年3月）

	情報提供を依頼する技術・製品等	背景	技術・製品等に求める内容	参考（NEXCO中日本グループ内での類似製品）
1	災害時に発生した路面の段差を早期に解消する技術・製品	地震などの災害時に発生した道路路面の段差部を解消し、緊急車両等の通行を確保するための応急対応として、土のうを用いたスロープの設置が一般的である。しかし、設置労力や設置後の使用期間に課題があるため、これらを解決できる技術・製品が求められている。	①80cm程度までの段差一箇所あたり、4～5人の人力のみで設置可能であること ②80cm程度までの段差一箇所あたり、短時間（30分程度以内）で設置可能であること ③設置後は大型車（20t程度）の通行が可能で、1ヵ月程度以上使用できること ④一製品の保管は小スペース（2㎡程度以下）であること	ジオスロープ工法 （中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸㈱） https://c-nexco-hmh.jp/wp-content/uploads/2019/03/jioslope.pdf
2	鋼部材の一液一層塗りによる簡易防錆処理剤	道路構造物を点検した際に鋼部材に軽微な腐食が確認された場合、あわせて簡易的な防錆処理を施している。しかし、防錆効果が長時間持続しないのが現状である。このため、防錆処理後、次の点検までの5年間、防錆効果が維持できる材料が求められている。	①施工性・作業性に優れること （刷毛またはスプレーで一液一層塗りで液等の垂れがなく、防食テープ等の巻き付け等を不要とするもの） ②施工が環境に左右されないこと（気温2℃以上、湿度が99％以下で施工可能） ③軽微な下地処理で10年程度以上の防錆効果を有すること （例：3種ケレンした試験体に施工したものをJIS H8502に基づいて複合サイクル試験で200サイクル実施しても、赤錆・膨れ・剥がれ等が殆どないことが確認できていること）	ターマラスト （中日本高速技術マーケティング㈱） https://www.c-nexco-tech.co.jp/lineup/file/Tamalast_pamphlet.pdf#view=Fit
3	簡易に設置、撤去が可能な車線規制材	高速道路上で工事等の作業を行う場合、車線規制材を設置して規制帯を設けるが、作業の近傍では高速の一般車両が走行しており、一般車両が突入した際の作業員の安全確保が課題となっている。そのためこれを防護し、簡易に設置、撤去できる規制材が求められている。	①起点・終点どちら側からでも設置・撤去が可能であること。また、途中の規制材を容易に中抜きすることが可能であること。 ②1パーティーで1時間あたり40m程度以上設置が可能なこと ③規制材設置後に規制材同士の連結作業が不要なこと ④車両用防護柵種別A種相当であることを確認していること	SSSガード （中日本高速道路㈱ 共同開発） https://www.maruji.com/product_detail/sssguard/